

中国語 (Chinese)

中国語入門 (Introductory Chinese)

(工 ((電 B)1 年))

邵 迎建・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

1 単位 前期 火 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目: 『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『中国語 (1)』)

【授業の目的】 中国語学習の基盤となる正しい発音, 基礎文法を学んだ上で, さまざまな場面を思い描きながら基本表現をゆっくり確実に身につけていく. また, 中国人の考え方, 生活習慣, 中国の文化, 中国の社会事情などについて紹介し, 隣国である中国に対する理解を深める.

【授業の概要】 テキストで新出単語・文法事項を学習し, 発音練習をした後, 教師と学生, あるいは学生同士による会話練習に最も重点を置き, 会話運用能力を高めていく. また, 中国に関するビデオ教材や CD 等も適宜使用し, 中国事情の紹介をする.

【キーワード】 中国語, ピンイン, 中国事情

【到達目標】 正確な発音と基礎文法を身につけることを目標とします.

【授業の計画】

1. ガイダンス
2. 発音編①
3. 発音編②
4. 発音編③
5. 発音まとめ
6. 第 4 課
7. 第 4 課練習
8. 中間考査
9. 9~10 第 5 課
10. 11-12 第 6 課
11. 13 復習
12. 14 口頭試験
13. 15 期末試験
14. 16 総括授業
15. 第一回の授業で詳細な授業計画を説明するので, 必ず出席すること.

【教科書】 張偉雄, 黄麗華, 邵迎建 『活用中国語』 (白帝社, 2010 年) 2,600 円. 辞書については授業で指示する (必ず購入すること).

【成績評価の方法】 小テスト, 期末試験, 授業への取り組み状況により総合的に評価する.

【再試験の有無】 有

【受講者のメッセージ】 授業中は恥ずかしがらず, 積極的に声を出して練習しましょう. 予習・復習時には, 教科書付録の音声教材を活用して下さい. 繰り返して聞くことで中国語の音とリズムに慣れ, 「聞き取る能力」と「話す能力」を養うことができます.

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220960>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 邵 (yingjian@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL